報道関係各位

2026 年 11 月 24 日
GW2050 PROJECTS 推進協議会
一般社団法人沖縄県医師会
一般社団法人那覇市医師会
国立大学法人琉球大学
日本リアルワールドデータ学会

医療界・アカデミア・行政・経済界が連携した
「沖縄医療データ活用プラットフォーム構築コンソーシアム」を設立

GW2050 PROJECTS 推進協議会、沖縄県医師会、那覇市医師会、琉球大学、日本リアルワールドデータ学会の 5 者は行政機関とも連携しながら、2026 年 11 月18日、沖縄の医療・バイオ産業の創出に向けて医療データの統合および安全かつ適正に創薬開発等の二次利用に活用するための推進体制として「沖縄医療データ活用プラットフォーム構築コンソーシアム」を設立し、同日、第 1 回会合を開催しました。

2026 年 10 月 30 日、沖縄県が策定した「医療・バイオ産業」地域産業クラスター計画（B 類型）が、国の「地域未来戦略」における計画として公表されました。同計画は 10 年間で県内関連企業を約 200 社へ倍増、官民累計 366 億円規模の投資を目標とし、柱の一つに「県民の医療データを利活用する基盤の整備」を掲げています。本コンソーシアムは、その速やかな実行に繋げるための動きとなります。

沖縄の医療データには、島嶼地域の特性である県民の健康状態を長期にわたって継続的に追跡しやすく、地域としてまとまりのあるゲノム・疫学データを蓄積可能といった他地域にない強みがあります。また、沖縄は世界有数の長寿地域「ブルーゾーン」として知られており、健康長寿や疾病の研究にとって貴重なフィールドでもあることから、県内医療機関の強固な協力体制と琉球大学・OIST 等の研究基盤が加わることで、創薬研究や臨床試験の産業集積に繋がる独自のデータ基盤を築くことが期待されます。

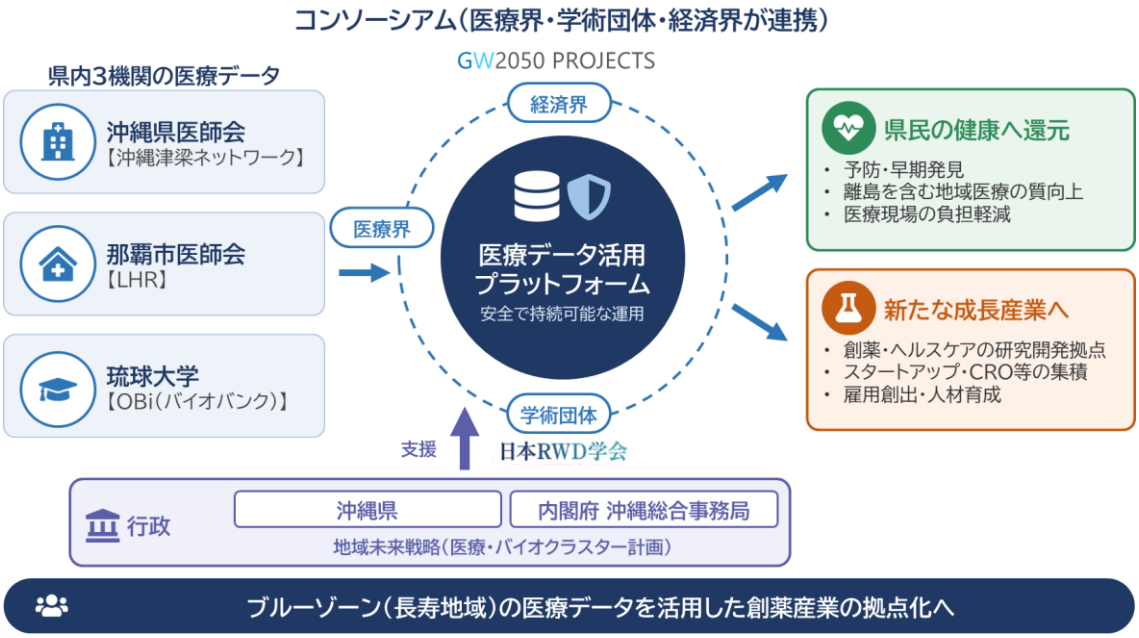
今後は、本コンソーシアムとして、データ活用に関する基本方針の策定などを順次進め、沖縄の新たな知財型産業として医療・バイオ産業の集積ならびにそのエコシステムの実現を目指してまいります。

【お問い合わせ】GW2050PROJECTS 推進協議会事務局

E-mail：contact@gw2050.okinawa

【別紙】

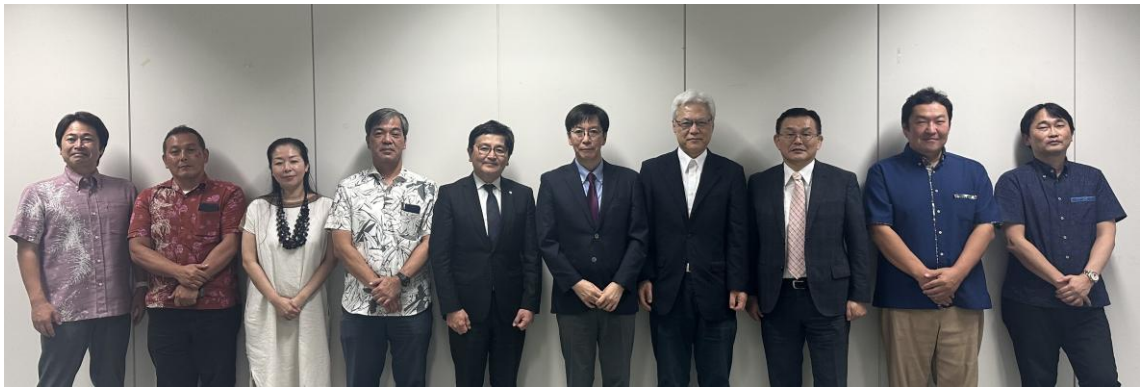
本コンソーシアムが目指す姿



参加機関

医療界	一般社団法人沖縄県医師会 一般社団法人那覇市医師会 国立大学法人琉球大学・琉球大学病院
学術団体	日本リアルワールドデータ学会
経済界（事務局）	GW2050 PROJECTS 推進協議会
行　政 （オブザーバー）	沖縄県（商工労働部） 内閣府 沖縄総合事務局（経済産業部）

※第一回会合開催時の集合写真



以上